

宇治市民憲章から
すみよい環境を
つくりましょう

宇治市政だより

7/11
昭和57年
(1982年)
第599号

発行 宇治市
編集 文書広報課
宇治市宇治発越33番地
電話 23141(代)
●毎月1日・11日・21日発行

国鉄宇治 駅前整備

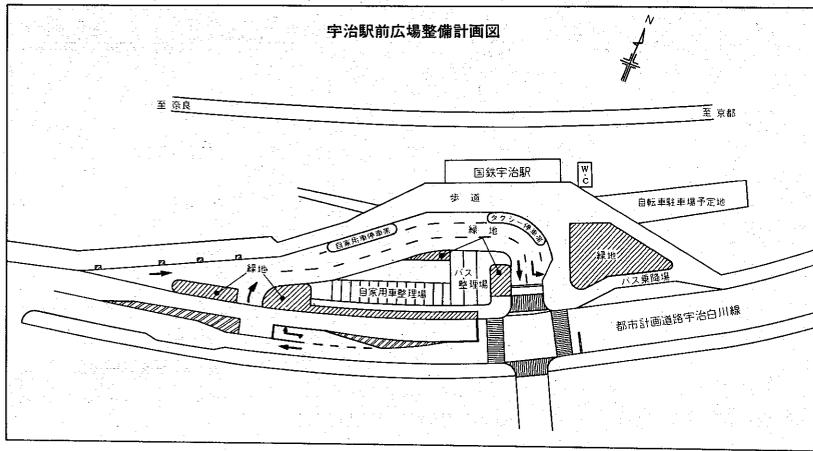
年内完成へスタート

表玄関にふさわしい広場に

緑地帯や憩いの広場

時計塔やベンチも設置

市では、このほど、長年の懸案となっていた国鉄宇治駅前の整備計画(案)をまとめました。計画では、観光宇治の表玄関にふさわしい駅前広場をめざし、シンボルとなる時計塔などを設置した緑地帯や憩いの広場などを整備し、年内完成を予定しています。



子どもを見れば徐行を

夏の交通安全運動 7月20日～8月31日

七月二十日から「夏の交通安全運動」が始まります。七月と八月は、四月に続いて交通事故が多くなる時期です。とくに幼児や小学生の事故が大半を占めています。▽運転手のみなさん、道路で子どもを見れば、いったん止まるか徐行しましょう。▽保護者や地域のみなさん、子どもの行動についても注意

事故なく過ごそう夏休み

- ちびっ子横丁
- ちびっ子横丁は、夏休みの間安心して遊べるよう、町内の道路を車両通行禁止にする。また、ちびっ子横丁の開放するのでも、ちびっ子横丁の開放を希望される町内会は、交通安全課に申請してください。
- 設定遊具
- ①近くに遊具がなると、②いつも子どもが遊ぶ利用している道路。
- ③自動車の回路が好くあること。
- ④町内の同意があること。
- ⑤地域民の協力や維持管理ができること。



白バイも参加した子ども大会(昨年の大会から)

交通安全 子ども大会

また、宇治市交通安全対策協議会では、薬し健に参加しながら交通安全の知識を身につけたこと、夏の交通安全も大々聞きまわす。▽開催場所: 宇治市立公民館(午後1時～4時) 雨天決行



整備される国鉄宇治駅前

複線電化へさらに努力

ところで、国鉄奈良線朝治十九年開通。当時、奈良駅で奈良線と呼ばれていたが、開四十二年(一九〇八)から国鉄奈良線になり、今日に至っています。国鉄は中心の交通手段として、住民生活に密着している公共輸送機関であるところから、バス

(三百)と夏用車(二百)の一時駐車場になります。また、回広場には緑地帯を五カ所設けますが、なかでも東側の緑地帯(約二百平方メートル)には、シンボルとなる時計塔を、開門、ベンチを設け、乗降客を市民の憩いの広場にしたいと考えられています。

路線バスは、駅前広場は入らずに、同線地帯の都計道路に乗り降りがつづかれず、そして、通勤、通学の車の利便を図るため、広場東には約二百平方メートルの自転車駐輪場をつくることになっています。工事は、今年末には完成の予定です。

ら、同線の複線電化をすすめるため昭和四十二年十一月に宇治市をはじめ沿線の四市四町で、同線複線電化促進協議会を結成し取り組みをすすめてきました。この結果、今年の四月に単線電化が認められ、昭和五十九年に完成予定で、

市では、今後も同線の複線電化に向けて積極的取り組みを、市民の足もますます公共輸送機関の充実を都市基盤の整備に努めていきたいと考えています。

